



令和3年6月28日

市政記者クラブ 様

環境局地域環境対策部地域環境対策課
主幹(環境影響評価・化学物質) 堀田(972-2676)
有害化学物質対策係長 中村(972-2677)

土壌汚染の報告について

下記のとおり、土壌汚染の報告がありましたのでお知らせします。

記

1 報告者 学校法人 大同学園

2 報告日 令和3年6月25日

3 報告の根拠 土壌汚染対策法

4 報告の概要

(1) 対象地名 大同大学 白水校舎

(2) 所在地 名古屋市南区白水町40番

(3) 対象地の概要 大学(昭和50年頃から現在まで)
5713.88m²(第1種住居地域、第2種住居地域)

(4) 汚染状況

| 項目 ^{※1} | 汚染物質 | 基準超えの濃度範囲 | 基準に対する倍率 | 基準 | 超過区画数 /調査区画数 ^{※2} |
|------------------|------------|--------------|----------|----------------|-------------------------------|
| 土壌溶出量調査 | ふっ素及びその化合物 | 1.1~1.9 mg/L | 1.4~2.4倍 | 0.8 mg/L 以下 | 7/68 |

※1 土壌溶出量は土壌に含まれる汚染物質が地下水に溶け出す量を示します。

※2 調査対象地の平面図上での試料採取区画数を示します。

5 本市の対応

報告者に対し、適切な土壌汚染対策を実施するよう指導を行います。
土壌汚染対策法に基づく区域の指定を行い、その旨を公示する予定です。

<参 考>

基準を超過した物質の毒性について

【ふっ素及びその化合物】

急性毒性： NaF を 6 mg/日以上摂取し続けていると、ふっ素症となり、体重減少、悪心、嘔吐、便秘等をきたす。SiF₄では、胃軟化症、神経痛等を起こす。

一般成人が一度に 100 mg 以上摂取すると、腹部の激痛、嘔吐、悪心を起こし、2,500 mg 以上の摂取で中毒死する。

*100 mg は、今回の土壌溶出量の汚染物質濃度 (1.9 mg/L) では、水 53 L に含まれる量になります。

慢性毒性： ふっ化物で中毒したラットの場合、腎臓における脂肪酸酸化酵素活性が著しく減少し、また、肝臓中の窒素及び脂肪含量が減少することが見いだされている。また、ふっ素中毒では、炭水化物の代謝障害も見られている。

飲料水等からふっ素を長期間過量に摂取した場合、飲料水のふっ素濃度2 ppm以上で斑状歯を生じ、8 ppm以上で骨硬化症となる。ふっ素には動物実験で発がん性を示すデータがない。

出典「改訂4版水道水質基準ガイドブック」「2012年版 化学物質ファクトシート」
(下線部分は、名古屋市において挿入しました。)